



小型充電式電池等は正しく処理してリサイクル

詳細はこちら▶



可燃ごみに混入した加熱式タバコやデジタルカメラなどの小型充電式電池の発火が原因で、火災が発生するなど、危険な状況が報告されています。

使用済み小型充電式電池を正しく処理することで、火災等の事故を防げるのはもちろん、電池に含まれている貴重な金属資源をリサイクルすることもできます。

リサイクルマークのあるモバイルバッテリーや充電式・リチウムイオン電池などは、(一社)JBRC協力店に設置しているリサイクルボックスで回収しています。一部例外がありますので、詳細や設置場所は(一社)JBRCホームページ(上記二次元コード)をご確認ください。



実際に可燃ごみに混入した電池



ニカド電池



ニッケル水素電池



リチウムイオン電池



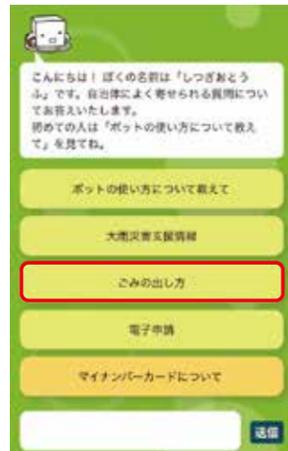
ごみの分別に迷ったら…

市ホームページや「家庭ごみ収集日程表」裏面の家庭ごみの分け方・出し方、「ごみ分別辞典」をご確認ください。なお、市ホームページ及び市公式LINEに登載し、行政サービス等に関する問合せに自動で回答する「チャットボット」でも、ごみの分別方法を調べることができます。

市ホームページはこちら▶



▼チャットボット



市公式LINEには、「ごみ分別検索」機能や収集日を事前に通知する「ごみの日通知」などの便利な機能も登載しています！是非、ご活用ください。

市公式LINE
友だち登録はこちら▶



▼市公式LINEのメニュー

「ごみの日通知」の
設定はここから▼



焼却不適物による問題

市清掃センターでは、年間16,734トン(令和4年実績)のごみを焼却し、市民生活に支障のないよう取り組んでいます。しかし、燃やせるごみ袋の中に焼却不適物(不燃物)が混入しており、焼却運転を停止しなければならなかったり、焼却設備が損傷したりすることが、長年の問題となっています。

焼却炉内の不燃物抜き出し作業の様子



抜き出し前



炉内作業



フォークリフトへ積み込み



抜き出し後



ダンプへ積み込み・金物選別



実際に可燃ごみに
混入した
焼却不適物

農具や工具、自動車用品といった焼却不適物が混入していました。

その量、なんと455トン!
※令和4年実績(燃えカス含む)。